

小学5年生ピロリ菌検査（胃がん対策）事業

体育保健課（内線2071）

1 目的

- 胃がんや胃炎等の原因の一つであるピロリ菌の検査を小学5年生を対象に実施し、検査及び除菌治療までの継続的なフォローアップを行うことで将来的な胃がん等のリスク軽減につなげる。
- がん教育を併せて実施することにより、がんの正しい知識について理解を深め、がん予防の意識を高める。

2 事業概要

■ 大分市立学校の小学5年生を対象に「ピロリ菌検査」を実施 ※希望者

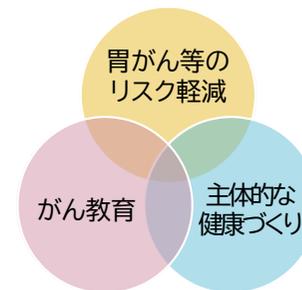
- **1次検査** … 小学5年生の希望者を対象に行っている
8～12月 「すこやか検診（血液検査）」の項目に「**ピロリ菌抗体検査**」を加えて実施
- **2次検査** … 1次検査で陽性となった児童に「**便中ピロリ菌抗原検査**」を実施（希望者）
1月
- **陽性者フォロー** … 2次検査陽性者の希望者を対象に
2月 フォローアップ相談会等を実施
- 1次検査、2次検査ともに費用は公費負担とする。

3 事業の方法

- 事業の実施に当たっては、大分大学と連携し、大分市連合医師会の協力を得て実施する。
- 大分市学校保健検討委員会において、事業の在り方等について検証を行う。

4 事業効果

- ピロリ菌を早期発見することで将来的な除菌や定期的な検診につながり、胃がんや胃炎等のリスクを軽減することができる。
- がん教育を併せて実施することで、がんの正しい知識について理解が深まる。
- 児童が健康について主体的に考える機会となる。



5 事業の流れ

